

令和5年度 大田区立蓮沼中学校 学校経営計画

【おおた教育ビジョン】最終年度
プラン1：未来社会を創造的に生きる
生徒の育成
プラン2：学力の向上
プラン3：豊かな心の育成
プラン4：体力の向上と健康の増進
プラン5：魅力ある教育環境づくり
プラン6：学校・家庭・地域が一体と
なるとともにすすめる教育

【教育目標】
夢と希望をもって、未来を拓く生徒の育成を目指し、次の教育目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。
○人権を尊重する生徒の育成
◎自ら学ぶ生徒の育成
○心身ともに健全な生徒の育成

【生徒の実態・特質や保護者・地域の願い】
学校評価の詳細な分析と積極的な活用

目指す学校像

自信と笑顔があふれる学校
<達成感とやりがいのある学校>
生徒の声が聞こえる学校
<寄り添い、良さや可能性を引き出す学校>

目指す生徒像

自己肯定感を高め、力を十分に発揮できる生徒

目指す教師像

意欲的に学習する教育活動が展開できる教師

中期的な目標

自ら考え判断できる力の育成と協働的な学びの実践

中期的な目標

教育活動を適切に評価し、改善できる教員組織の構築

重点目標

協働的な学びにつながるICTの活用をする。
生徒の意見を教育活動に積極的に反映させる。

重点目標

学年担任制の積極的な取組により課題を改善する。
学校評価を見直し、学校改善と業務改善につなげる。



学校経営の基本方針

- ☆「風通しが良く、安心できる職場・学年・学級」を構築する。☆
- 「任せる 認める 信じる」心理的安全性が保障される風土を確立する。
- 「可能な限り、チャンスを与え、チャレンジさせる」教育活動を実践する。
- ～これからの学校・生徒・職員のために必要な組織開発を遂行する。～



具体的な方策

☆学習指導要領を拠り所とした教育活動を実践する☆

- 1 生徒が考え、判断できる。生徒（達）が自分で決められる、教育活動を実践する。〈プ 3〉
- 2 学校評価の改善と徹底した教育活動の評価による学校改善と業務改善を推進する。〈プ 5〉
- 3 「生きる力」の育成を常に意識した教育活動の実施：「確かな学力」や「社会性（規範意識）」を身につけるための共通スタンダードを確立する。〈プ 2.3〉
- 4 単元計画を見直し、思考力・判断力・表現力育成の時間を創出するなど、年間を通して授業改善を実践する。〈プ 2.5〉
- 5 個別最適な学びや協働的な学びにつながる ICT の積極的な活用と教育環境の整備を推進する。〈プ 5〉
- 6 教職員自ら挨拶し、生徒同士も元気の挨拶が交わし合える指導をする。〈プ 3.4〉
- 7 人権教育プログラムを活用した研修を充実させ、教職員の人権感覚や人権意識を高め、人権教育を実践する。〈プ 1〉
- 8 「特別の教科 道徳」を柱として、全教育活動を通した「心の教育」を推進する。〈プ 3〉
- 9 いじめに対して、いじめ防止対策委員会を中心とした組織的な対応を徹底する。また、些細なことでも情報を共有し、全教職員で見守る体制をつくることで未然防止につなげる。〈プ 3.5〉
- 10 不登校（傾向）生徒減少につながる学習支援や安心できる居場所づくりを推進する。〈プ 5〉
- 11 学年進行に応じたキャリア教育を実践し、主体的な自己実現ができる能力を育成する。また、地域人材を積極的に活用した総合的な学習の時間の充実を図る。〈プ 1.6〉
- 12 教育公務員としてサービスを厳正するとともに積極的に自己研鑽を行い資質の向上を図る。〈プ 5〉
- 13 「安全・安心な学校づくり」のため、防犯教育・防災教育を組織的、計画的に実施する。〈プ 5〉
- 14 職層に応じた役割や職務を明確にした組織を構築する。また、OJT の年間計画を作成し、（主幹）主任教諭を中心とした組織的な人材育成を推進する。〈プ 5〉